



香建設第 53 号

平成20年10月2日

国土交通省道路局長 様

香取市長 宇 井 成



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあったこのことについて、別添のとおり回答します。

「国際競争力の強化を図る道路の重点的整備」

- ・ 成田国際空港や周辺の臨空工業団地、鹿島臨海工業地域、筑波研究学園都市といった日本の産業拠点地域をつなぐネットワーク道路については、日本の国際競争力を強化するために必要な道路として、重点的な整備を要望する。

「老朽化する道路構造物の管理」

- ・ 老朽化する道路構造物の管理について、橋梁長寿命化修繕計画策定後の耐震補強工事を含む橋梁補修工事及び市道補修工事に対する国庫補助制度の新設を要望する。

「道路特定財源」

- ・ 地方にとって道路は生活の生命線であり、道路整備により市民の生活向上や地域の活性化が図れる。特に合併直後の市においては、旧市町を結ぶネットワーク道路の整備が急務であり、財源となる地方道路整備臨時交付金制度の存続を願う。

また、道路特定財源については、公共交通サービスの整備が進んでいない地方に対して厚く配当されるよう願うとともに、自動車も多く保有し、納税している地方に見合った配分方法を検討くださるよう要望する。

②-1 地域の現状と抱える課題

千葉県 香取市

○現状	○課題
「安心・安全につながる道路整備」 ・ 緊急時における救急車の現場到着時間が 20 分以上かかる地域もあり、到着時間の短縮、重症患者や救急現場から近隣にある成田赤十字病院と国保旭中央病院の 2 箇所となる三次医療施設への搬送時間の短縮が求められている。 また、合併により広域化した市内の災害物資輸送路についても道路整備が求められており、新市の一体性の促進及び市民の安心・安全な生活を確保するため地域の道路を優先的に整備されたい。	・ 救命にかかわる三次医療施設への搬送時間の短縮。 ・ 渋滞の原因となるボトルネック箇所の解消。 ・ 合併による新市一体性の促進。 ・ 広域化に対応した災害時の物資輸送路確保。

②-2 地域の目指すべき将来像

千葉県 香取市

「将来都市像」

香取市の基本理念である「市民協働による 暮らしやすく 人が集うまちづくり」に基づき、「活力」と「安全・安心」をキーワードとして、将来都市像を次のように掲げる。

「元気と笑顔があふれるまち」

「一人ひとりの市民が輝く 活気みなぎる やすらぎの郷 香取」

「元気と笑顔があふれるまち」とは、「元気」は、躍動感のある経済活動、人と人との交流などをとおしてみんなで創り上げていく、活気・にぎわいのあるまちの様子をあらわしている。

「笑顔」は、安全・安心な暮らしを満喫することができ、また、人と人との心の交流、繋がりが強い、快適でうるおいのあるまちの様子をあらわす。

活力に満ちあふれ、住みやすい環境のなかで市民の笑顔があふれるまちを目指している。

「一人ひとりの市民が輝く 活気みなぎる やすらぎの郷 香取」とは、「一人ひとりの市民が輝く」は、「将来の市民の姿」の理想像をあらわす。すべての市民が充実感を抱き、輝きながら暮らしていける「誰もが憩えるふるさと」を目指す。

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

千葉県 香取市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価	○その他
【活力分野】 地域活力の向上	「佐原本宿耕地地区高規格堤防整備事業」 ・ 「佐原本宿耕地地区高規格堤防整備事業」にある	・ 安心・安全まちづくりの大きな前進。	国、県、市の連携事業。
【活力分野】 都市交通の快適性、利便性の向上	ついては、国が佐原本宿耕地地区高規格堤防、佐原地区河川防災ステーション、水辺交流センター施設(災害対策施設等)や河岸などの河川環境施設の整備を行い、千葉県が国道356号道路改築整備を行う。これに併せて市は、地域交流センター、水辺交流センター(水辺交流施設)を設置し、佐原広域交流拠点と、中心市街地内の歴史的町並みが残る「重要伝統的建造物群保存地区」を小野川の	・ 災害対策施設、河川環境施設、水辺交流施設の充実。 ・ 国道4車線化による渋滞解消。 ・ 市民協働の舟運により「重要伝統的建造物群保存地区」への進入車両排除、景観・環境の向上及び「歩けるまち」の創造。	PFI事業。
【安全分野】 水害等の災害に強い国土づくり 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 【暮らし・環境分野】			

良好な生活空間・自然環境の形成	舟運で結ぶことにより、舟運を利用した「歩けるまち」の創造につながり地域振興に寄与することが期待される。	・ 地域連携、地域振興に寄与。 ・ P F I 事業により民間活力を導入。	
【活力分野】 都市交通の快適性、利便性の向上	「小野川放水路整備事業」 ・ 佐原市街地は豪雨時に度重なる浸水被害を受けていたが、都市計画道路整備と合わせた小野川放水路整備により、浸水被害の解消と都市計画道路仁井宿与倉線の完成により、市街地環状道路による通過交通の排除による渋滞解消、良好な生活空間の形成と隣接する県立佐原中央病院への搬送路が確保でき、地域における道路整備と防災力の向上に寄与している。	・ 市街地浸水被害の解消。 ・ 都市計画道路の整備と兼ねた防災力向上及び危機管理強化。 ・ 市街地環状道路による交通安全対策向上及び市街地内への通過交通の排除。	小野川放水路整備と兼ねた都市計画道路整備。
【安全分野】 水害等の災害に強い国土づくり 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化			